

## 第3章 説明会型意見交換会の開催報告

### 1. 実施概要

#### ■プログラム

	プログラム	内容
19:00	開会・挨拶	平塚市まちづくり政策部まちづくり政策課より挨拶
19:05	全体説明	まちづくりの検討状況、拠点まちづくりの方向性について
19:30	パネル前にて拠点ごとの意見交換	参加者とスタッフが1対1の状態、地域での生活実態と、暮らし続けるために必要な拠点などについて意見交換
20:15	拠点ごとのご意見の紹介 全体意見交換	意見の内容をスタッフが発表し、全体で意見交換
20:55	今後の予定	今後の予定説明
21:00	閉会	

・次ページ以降に、説明資料を整理する。

■説明資料

## 第2回 便利で快適なまちづくり に関する意見交換会

日時 令和5年11月29日（水）19:00～  
場所 崇善公民館 1F会議室

## プログラム

19:00 開会・挨拶  
19:05 全体説明  
    ーまちづくりの検討状況、拠点まちづくりの方向性  
19:30 パネル前にて拠点ごとの意見交換  
20:15 拠点ごとのご意見の紹介、全体意見交換  
20:55 今後の予定  
21:00 閉会

### 1.便利で快適なまちづくりに向けて

#### ①コンパクト・プラス・ネットワークの実現に向けて

平塚市では、人口減少・少子高齢化に対して、**地域での生活を支える都市機能がある拠点**に、徒歩や自転車、公共交通でアクセスしやすい「**コンパクト・プラス・ネットワーク**」のまちづくりのため立地適正化計画の策定を進めています。

コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ

拠点のイメージ

#### ②今後の人口減少と高齢化の見通しと生活利便性

- 平塚市の人口は2010年をピークに減少しており、国立社会保障・人口問題研究所による将来推計では、2050年には1975年（昭和50年）と同程度の人口約20万人まで減少が見込まれています。

2022年11月現在  
約25万8千人

1975年 2050年 20万人

平塚市の将来人口推計

- 5歳階級別の将来人口推計では、2050年に高齢化率が40%以上のエリアが全市的に広がる見通しが示されています。

65歳以上人口分布（将来人口推計）  
2020年      2050年

高村、横内、田村の公的住宅団地周辺の高齢化が顕著

高齢化率40%以上のエリアが全市的に広がる

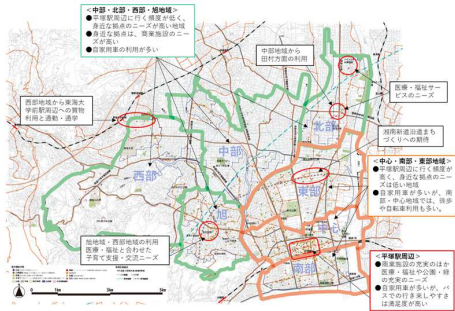
#### ②今後の人口減少と高齢化の見通しと生活利便性

- 人口減少と高齢化により、商業施設の利用者、バスの利用者などが減り、**日常生活を支えるうえで必要な施設の維持が困難になるおそれがあります。**

子どもから高齢者まで、バスなど公共交通で行きやすい場所に、今ある生活利便施設も活かして、便利で快適な拠点づくりを進めていくことが大切です。

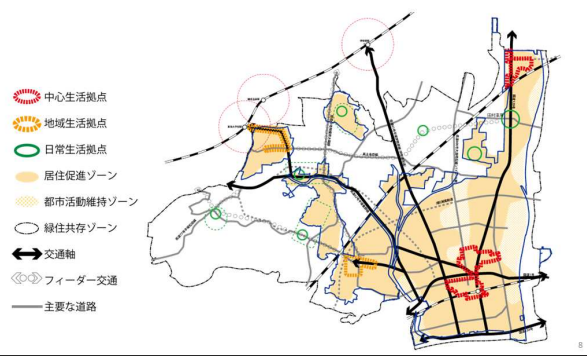
### ③地域の特性・生活圏に応じた拠点の設定

- 昨年度は、現況分析、市民アンケート、地域別意見交換会を開催し、生活実態とニーズを把握しました。



昨年度の市民アンケートや意見交換会から見た生活実態とニーズ

- その結果をふまえて、目指す都市の骨格や拠点まちづくりの案を作成しました。



## 2.住まいの誘導と拠点まちづくりの考え方

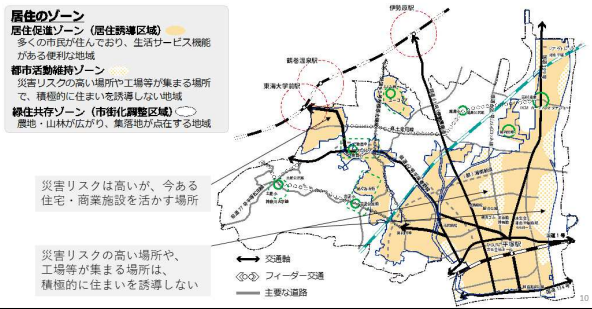
### ①「立地適正化計画」制度の活用

- 立地適正化計画では、都市機能（行政・商業・医療福祉・子育て・教育文化・金融など）の集積や公共交通のネットワークの状況、災害リスクを考慮して、「今後、積極的に住まいを誘導する区域」と「生活を支える都市機能を誘導する区域（拠点）」を定めます。
- 拠点には「居住者の利便性・快適性を向上させる施設（誘導施設）」を誘導します。
- 国の支援制度も活用して、官民の連携により、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めます。



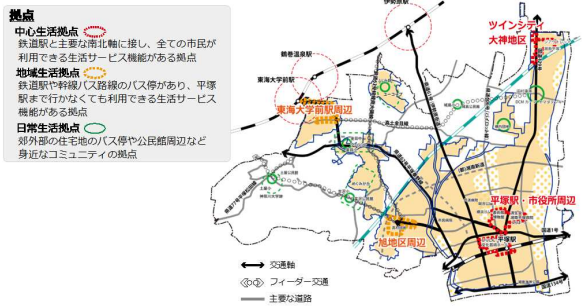
### ②住まいを誘導する区域の考え方

- 多くの市民が住んでおり、利便性が高く安全・安心で快適に住まい続けられる場所や良好な居住環境の計画住宅地等に居住を誘導します。



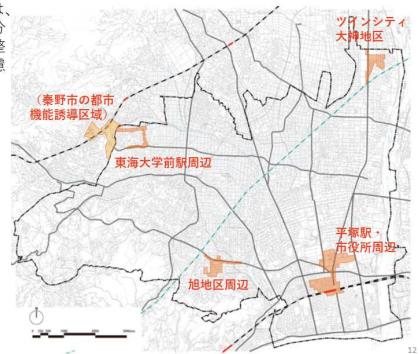
### ③拠点の考え方

- 公共交通や機能立地状況、市民の利用実態やニーズ等に応じて、中心生活拠点、地域生活拠点、日常生活拠点を設定し、拠点まちづくりに取り組みます。



### ④都市機能を誘導する区域（拠点）の考え方

- 都市機能誘導区域は、現在、都市機能が分布する範囲、拠点整備が進む範囲を考慮して設定します。





### ⑤ 誘導施設の考え方

● 維持・強化する機能は、施設やサービスの利用圏域や施設配置の考え方

- 中心生活拠点・地域生活拠点として一体的な形成を図る範囲を考慮して設定します。

	中心生活拠点	地域生活拠点
エリア	平塚駅・市役所周辺	ツインシティ大神地区
役割	全市民が利用できる生活サービス機能がある拠点	旭地区周辺 東海大学前駅周辺 平塚駅まで行かなくても利用できる生活サービスがある拠点
行政	都市的な行政施設（市役所、区公庁） 身近な行政サービスの窓口機能（市民窓口センター）	
教育・文化	市産域から利用される文化・交流施設（文化ホール、博物館、市民図書館等）	
医療	地域交流・文化施設（多世代交流施設、図書館、公民館等） 病院（病床数20床以上）、検診施設（異なる複数の診療所や隣り薬局が集積する施設） 診療施設（クリニックモール等）	
介護福祉	日常的な高齢者支援・交流施設（通所介護施設等）	
子育て	市産域から利用される子育て関連施設	
商業	日常的な子育て関連施設（こども園、保育所、幼稚園、学童保育、子どもの家等） 広域的に利用される商業施設（食料品や日用品を扱う大規模商業施設1,000㎡超） 日常的な食料品・日用品の買物ができる施設（スーパー、コンビニ）	
金融	決済や融資など窓口を有する金融機関（銀行・信用金庫・郵便局等） 日常的な引き出しや預け入れができる金融機関(ATM)	

● 拠点に維持・誘導する施設  
● 圏域ごとに配置するが、拠点では都市機能誘導区域に誘導する施設

### 3. 拠点まちづくり（平塚駅・市役所周辺）

#### ① 地区の現況と拠点の範囲（都市機能誘導区域）

＜拠点機能＞  
・全市民を対象とした病院や公共施設群が平塚駅北側の約1km圏に多い

＜交通軸＞  
・JR平塚駅～小田急線駅方面等の放射状のバス路線の結節点

＜まちづくりの動向＞  
・平塚駅周辺地区活性化事業が進行中

＜市民ニーズ＞  
・商業・医療・福祉機能の強化、拠点内の移動支援

### 3. 拠点まちづくり（平塚駅・市役所周辺）

#### ② 拠点の方針

居心地が良く魅力の高い玄関口、全市民が利用する都市機能が集積する拠点

＜施設利用や滞在・交流＞  
・買物や通院、行政手続き等とあわせて、イベントを楽しんだり、ゆっくりと時間が過ぎる場、誰もが気軽に集まり賑わう場がある

＜移動・回遊＞  
・バス、自転車、自動車などでアクセスしやすい拠点  
・歩きやすい歩行環境、通り毎に特色のある商店街、休憩や交流できる公園、広場などウォーカブルなネットワーク  
・拠点内のローモビリティや移動支援サービスがあり、医療、文化施設、商店街などを快適に移動できる

＜住まい＞  
・郊外からの高齢住居層や市内外からの多世代の転入を受け止める多様な住まいがある

居心地が良く賑わうまちのイメージ  
出典：国土交通省ホームページ掲載資料より引用

### 3. 拠点まちづくり（平塚駅・市役所周辺）

#### ③ 拠点内に誘導する施設（誘導施設）

● 市内全域から利用される広域の玄関口として、公共施設群の維持と、生活利便サービスや賑わい創出の複合的な機能を強化します。

公共施設群維持区域	市内全域から利用される主要な行政・文化・医療・福祉・商業機能を維持する						
行政機能	医療機能	介護福祉機能	子育て機能	教育・文化機能	商業機能	金融機能	
今ある都市施設の前	市役所本庁舎	済生会湘南平塚病院	平塚市福祉会館	こども発達支援センター	中央図書館	ららぽーと湘南平塚	平塚駅南口
誘導方針	中核的な行政機能の維持	総合的な医療サービスの維持	介護福祉や子育て支援、文化等の基幹的な施設の維持	広域的に利用される児童福祉施設の維持	広域的に利用される商業機能の維持	経済や観光対応機能の維持	

賑わい・交流創出区域	南の核、広域の玄関口として、生活利便機能と賑わい創出の複合的な機能を強化、誘導する					
行政機能	医療機能	介護福祉機能	子育て機能	教育・文化機能	商業機能	金融機能
今ある都市施設の前				平塚文化芸術ホール	ラスカ	平塚信用金庫
誘導方針		健康増進、福祉サービス、子育て支援、文化・交流等の機能の維持・強化		基幹的な文化施設の維持・強化	広域的に利用される商業機能の維持	経済や観光対応機能の維持

● 維持 ● 強化 ● 強化 ● 強化 ● 強化 ● 維持 ● 維持

### 3. 拠点まちづくり（ツインシティ大神地区）

#### ① 地区の現況と拠点の範囲（都市機能誘導区域）

＜拠点機能＞  
・大規模商業施設であるジャウトレット湘南平塚が立地

＜交通軸＞  
・平塚駅・厚木方面のバス路線の交通軸  
・交通広場（トランジットセンター）

＜まちづくりの動向＞  
・土地区画整理事業により整備中  
・新幹線新駅と連絡する（仮称）ツインシティ橋が整備予定

＜市民ニーズ＞  
・医療・福祉機能の誘導・強化

### 3. 拠点まちづくり（ツインシティ大神地区）

#### ② 拠点の方針

市民や市外からの来訪者が行き交い、広域的な交流と連携のゲートとなる拠点

＜施設利用や滞在・交流＞  
・市外からの来訪者も行き交うトランジットセンター、商業施設の周辺に、健康づくりや福祉サポートを受けられる場などの賑わいがある

＜移動・回遊＞  
・南北軸の強化された路線バス（幹線）により、平塚駅方面や厚木駅方面から快適にアクセスできる  
・交通広場から徒歩やグリーンズローモビリティで地区内の利便施設に快適に移動できる

＜住まい＞  
・計画的な開発住宅地の良好な住環境、ゆとりある住まいがある

出典：平塚市・ツインシティ大神地区土地区画整理組合（2017）  
「ツインシティ大神地区まちづくりガイドライン」

### 3.拠点まちづくり(ツインシティ大神地区)

#### ③拠点内に誘導する施設(誘導施設)

- 北の核、広域の玄関口として、平塚駅周辺と同様に広域的な利用を想定した商業や金融機能など生活利便性を維持し、健康増進や福祉サービス、交流や賑わいを創出する機能を誘導します。

都市機能	行政機能	医療機能	介護福祉機能	子育て機能	教育・文化機能	商業機能	金融機能
今ある 都市機能 の例		クリニック モール シアタートレット (湘南平塚店)	—				イオン銀行 シアタートレット
誘導方針	行政窓口機能の維持	健康増進、福祉サービス、子育て支援文化・交流等の機能の維持・強化				広域的に利用される商業機能の強化	決済や融資取引機能の強化

### 3.拠点まちづくり(旭地区周辺)

#### ①地区の現況と拠点の範囲(都市機能誘導区域)

<拠点機能>

- ・旧旭村役場があった郵便局周辺から高村団地の一体と、平塚駅-高村団地の交通軸の沿道に生活サービス施設が多く立地
- ・2公民館と山下団地周辺は金目川の浸水想定あり

<交通軸>

- ・高村団地を終点とするバス路線の交通軸

<まちづくりの動向>

- ・高村団地の再生による医療福祉拠点化が進行中

<市民ニーズ>

- ・西部地域から利用あり、南北の移動サービスのニーズがある

### 3.拠点まちづくり(旭地区周辺)

#### ②拠点の方針

**周辺・郊外地域の暮らしを支える医療・福祉と多世代交流の拠点**

<施設利用や潜在・交流>

- ・買物や通院と合わせて、多世代が集える居場所や交流の場がある
- ・働き・交流できるテレワーク拠点、子育て支援など、若年世代・子育て世代がうれしい施設やサービスがある

<移動・回遊>

- ・平塚駅・東海大学前駅にアクセスできる幹線バス路線と便利な交通結節点がある
- ・外出を促すバリアフリーで快適な歩行者環境や地域内移動サービス、イベントにぎわう公園・広場がある

<住まい>

- ・計画的開発住宅地の良好な住環境、ゆとりある住まいがある

多様な住まいや暮らしを支える施設やサービスがあるまちのイメージ  
出典：国土交通省ホームページ掲載資料より引用

### 3.拠点まちづくり(旭地区周辺)

#### ③拠点内に誘導する施設(誘導施設)

- 行政、教育・文化、福祉施設等の防災性を高めるため、生活サービス機能を強化します。

都市機能	行政機能	介護福祉機能	子育て機能	医療機能	教育・文化機能	商業機能	金融機能
今ある 都市機能 の例	—			病院 (新設予定)	地域交流・ 文化施設 (新設予定)		
誘導方針	行政、教育・文化・福祉機能等の防災機能の強化			総合的な生活サービスの維持	広域的に利用される商業、文化等の機能の強化	決済や融資取引機能の維持	決済や融資取引機能の維持

### 3.拠点まちづくり(東海大学前駅周辺)

#### ①地区の現況と拠点の範囲(都市機能誘導区域)

<拠点機能>

- ・東海大学前駅にアクセスする道路沿いに商業・医療機能が立地

<交通軸>

- ・小田急線東海大学前駅から徒歩圏

<まちづくりの動向>

- ・土地区画整理事業が2015年に完了
- ・秦野市立地適正化計画の都市機能誘導区域に隣接

<市民ニーズ>

- ・西部地域住民の買物や通学・通学のためのバス利用ニーズ

### 3.拠点まちづくり(東海大学前駅周辺)

#### ②拠点の方針

**秦野市の拠点と連携した、郊外地域の生活を支える拠点**

<施設利用や潜在・交流>

- ・買物や通院、生産学習、大学と住民の交流など、多様な活動を楽しめる場がある

<移動・回遊>

- ・西部地域や平塚駅方面から東海大学前駅にバスでアクセスしやすい
- ・安全な歩行者環境や公園・広場があり、快適に通学・通学・通院・買い物ができる

<住まい>

- ・計画的開発住宅地の良好な住環境、ゆとりある住まいがある

バスで行きやすく、安全・快適・便利なまちのイメージ  
出典：国土交通省ホームページ掲載資料より引用



### 3. 拠点まちづくり（東海大学前駅周辺）

#### ③ 拠点内に誘導する施設（誘導施設）

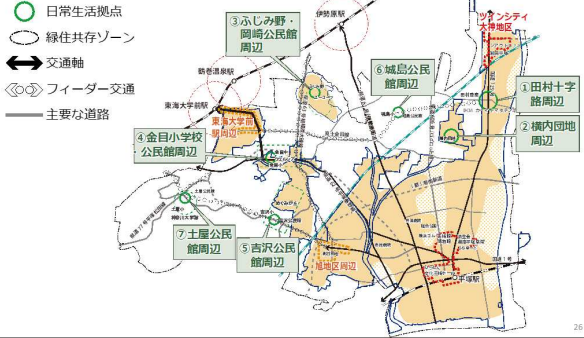
- 不足する行政・文化・福祉機能の強化や、災害リスクのある場所からの移転などにより生活サービス機能を強化します。

都市機能	行政機能	医療機能	介護福祉機能	子育て機能	教育・文化機能	商業機能	金融機能
今ある都市施設の例	-		-	-	-		奈野市内の窓口機能を有する銀行・信用金庫の維持を想定
誘導方針	行政、福祉、健康増進等の防災機能、教育・文化機能の維持・強化				法的的に利用される立地的に活用される	エコマーケット	支店や融資対応強化の維持

25

### 4. 郊外部の身近なコミュニティの拠点

#### ① 日常生活拠点の設定



26

### 4. 郊外部の身近なコミュニティの拠点

#### ② 拠点づくりのイメージ

拠点の位置	身近なコミュニティの拠点のイメージ
① 田村十字路周辺	乗り換え便利なバス停を活かす拠点づくり
② 横内団地周辺	団地再生とあわせて、身近な買い物や支え合いができる拠点づくり
③ ふじみ野・岡崎公民館周辺	丘の上の移動や買物利便性を支える拠点づくり
④ 金目小学校・公民館周辺	安全で、乗り換え便利なバス停がある拠点づくり
⑤ 吉沢公民館周辺	ゆるぎ地区活性化とあわせて、移動や買物利便性を支える拠点づくり
⑥ 城島公民館周辺	交流の里づくりとあわせて、便利な交通結節点がある拠点づくり
⑦ 土屋公民館周辺	安全で快適な暮らしを支える丘陵部の拠点づくり

27

#### <参考事例>

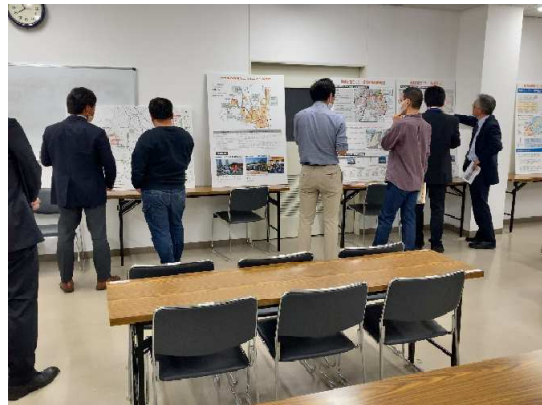
地域内モビリティとの乗り換え結節点 買物や交流スペースを備えたバス停



電動アシスト自転車、スクーター、バス停に整備された交流スペース併設コンビニ超小型EVのシェア型マルチモビリティステーション（さいたま市）  
野七里テラス（横浜市栄区）

28

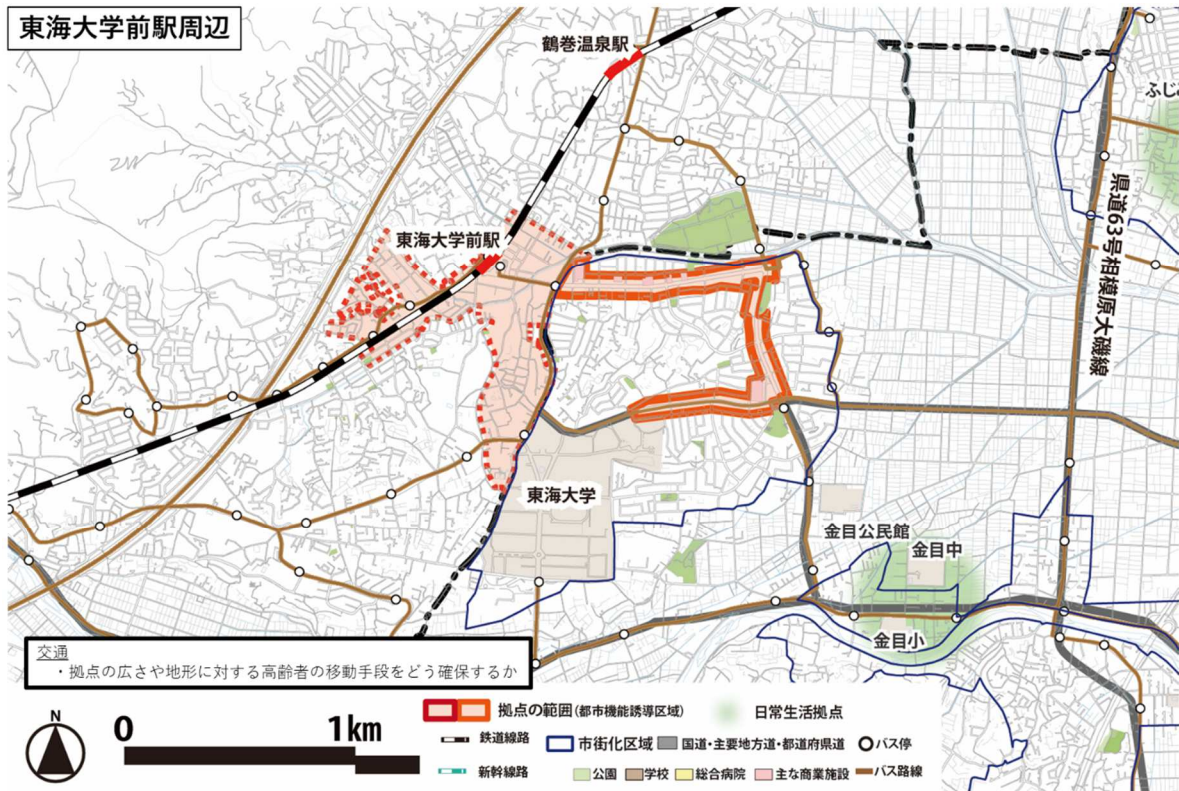
### 開催風景





## 2. 意見概要

### 東海大学前駅周辺



### 平塚駅・市役所周辺





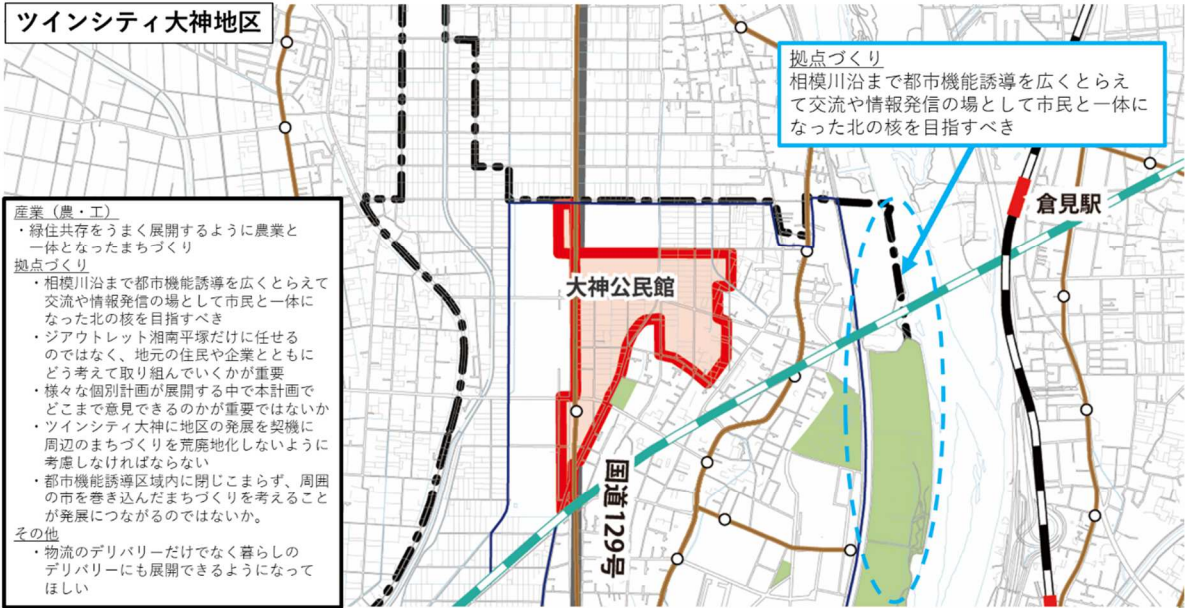
### ツインシティ大神地区

**産業（農・工）**  
 ・緑住共存をうまく展開するように農業と一体となったまちづくり

**拠点づくり**  
 ・相模川沿まで都市機能誘導を広くとらえて交流や情報発信の場として市民と一体になった北の核を目指すべき  
 ・シアウトレット湘南平塚だけに任せるのではなく、地元の住民や企業とともにどう考えて取り組んでいくかが重要  
 ・様々な個別計画が展開する中で本計画でどこまで意見できるかが重要ではないか  
 ・ツインシティ大神に地区の発展を契機に周辺のまちづくりを荒廃地化しないように考慮しなければならない  
 ・都市機能誘導区域内に閉じこまらず、周囲の市を巻き込んだまちづくりを考えると発展につながるのではないかと

**その他**  
 ・物流のデリバリーだけでなく暮らしのデリバリーにも展開できるようになってほしい

**拠点づくり**  
 相模川沿まで都市機能誘導を広くとらえて交流や情報発信の場として市民と一体になった北の核を目指すべき

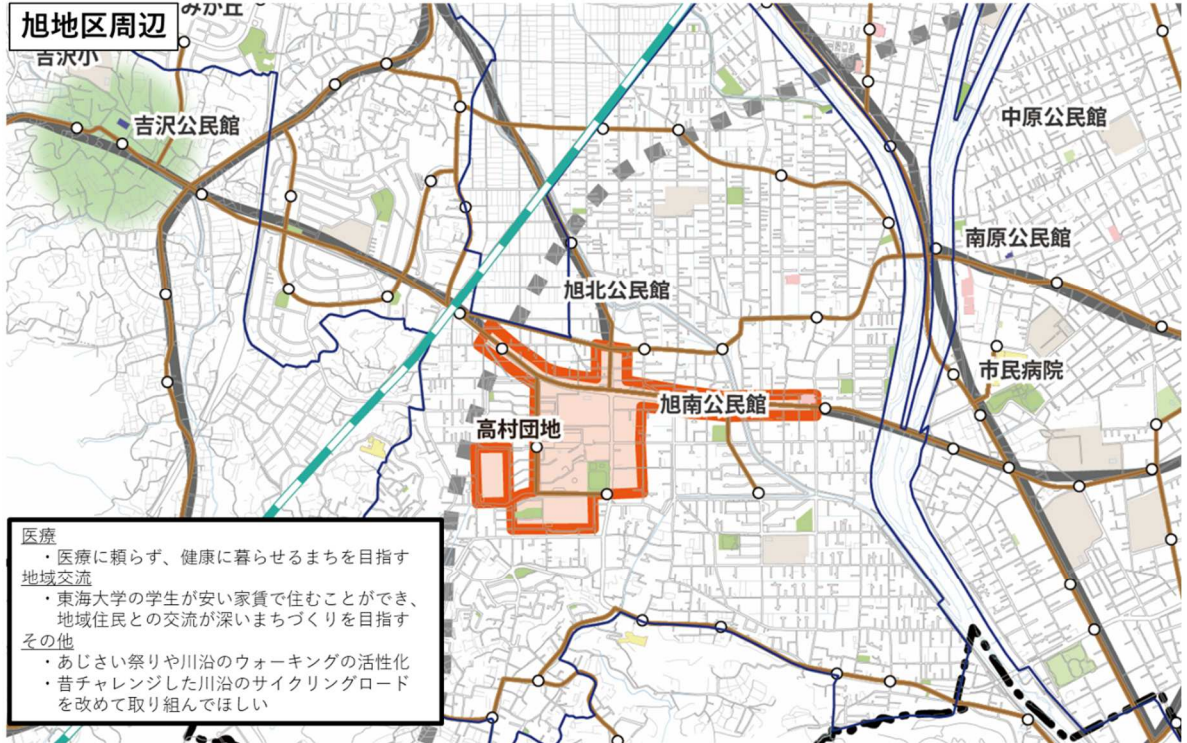


- 拠点の範囲 (都市機能誘導区域)
- 日常生活拠点
- 鉄道線路
- 市街化区域
- 国道・主要地方道・都道府県道
- バス停
- 新幹線
- 公園
- 学校
- 総合病院
- 主な商業施設
- バス路線

### 旭地区周辺

**医療**  
 ・医療に頼らず、健康に暮らせるまちを目指す  
**地域交流**  
 ・東海大学の学生が安い家賃で住むことができ、地域住民との交流が深いまちづくりを目指す

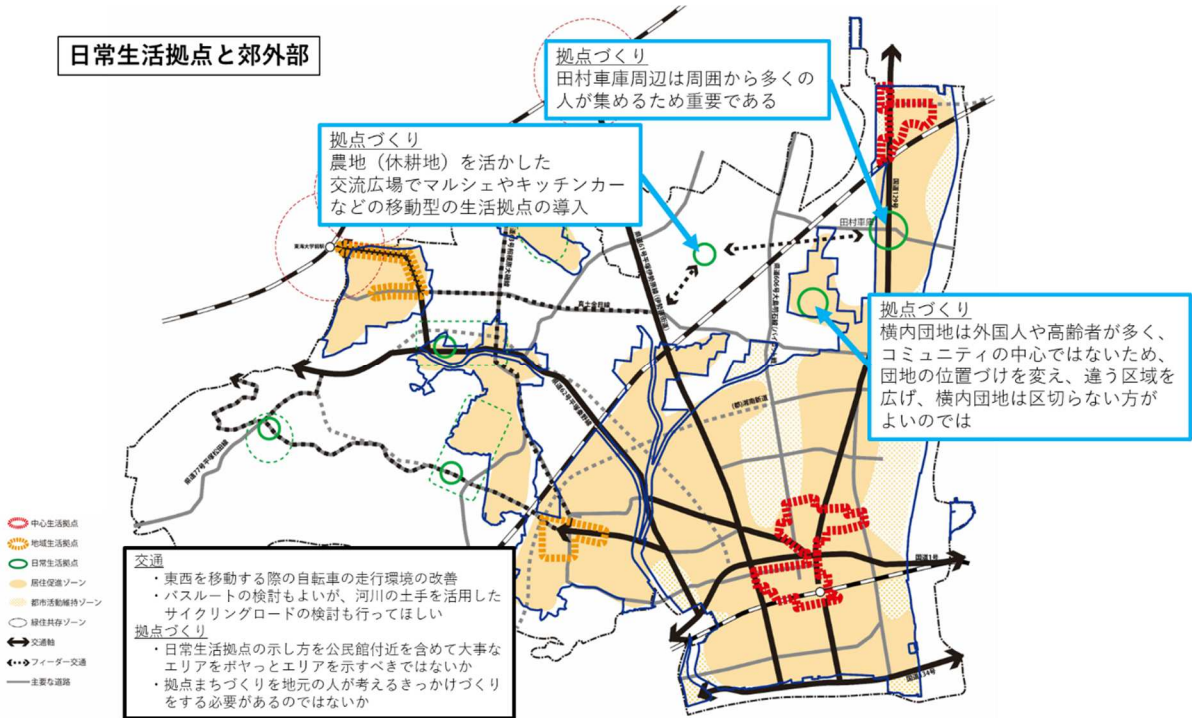
**その他**  
 ・あじさい祭りや川沿のウォーキングの活性化  
 ・昔チャレンジした川沿のサイクリングロードを改めて取り組んでほしい



- 拠点の範囲 (都市機能誘導区域)
- 日常生活拠点
- 鉄道線路
- 市街化区域
- 国道・主要地方道・都道府県道
- バス停
- 新幹線
- 公園
- 学校
- 総合病院
- 主な商業施設
- バス路線



## 日常生活拠点と郊外部



## その他

### 教育・子育て

- ・公民館に人材育成の機能も加えてよいのでは

### 拠点づくり

- ・隣接市の人口の動向も理解した上で計画したほうがよいのでは
- ・長期では、相模川以西全体を見た拠点のポテンシャルを活かした強みを作るべきではないか
- ・市街化調整区域の拠点は住民の誇りにつながるのではないかと
- ・3拠点にサブセンターを置き、郊外部を支える
- ・28ヵ所の小学校も活用して、周辺に若年層を呼び込みや住まいの誘導を

### その他

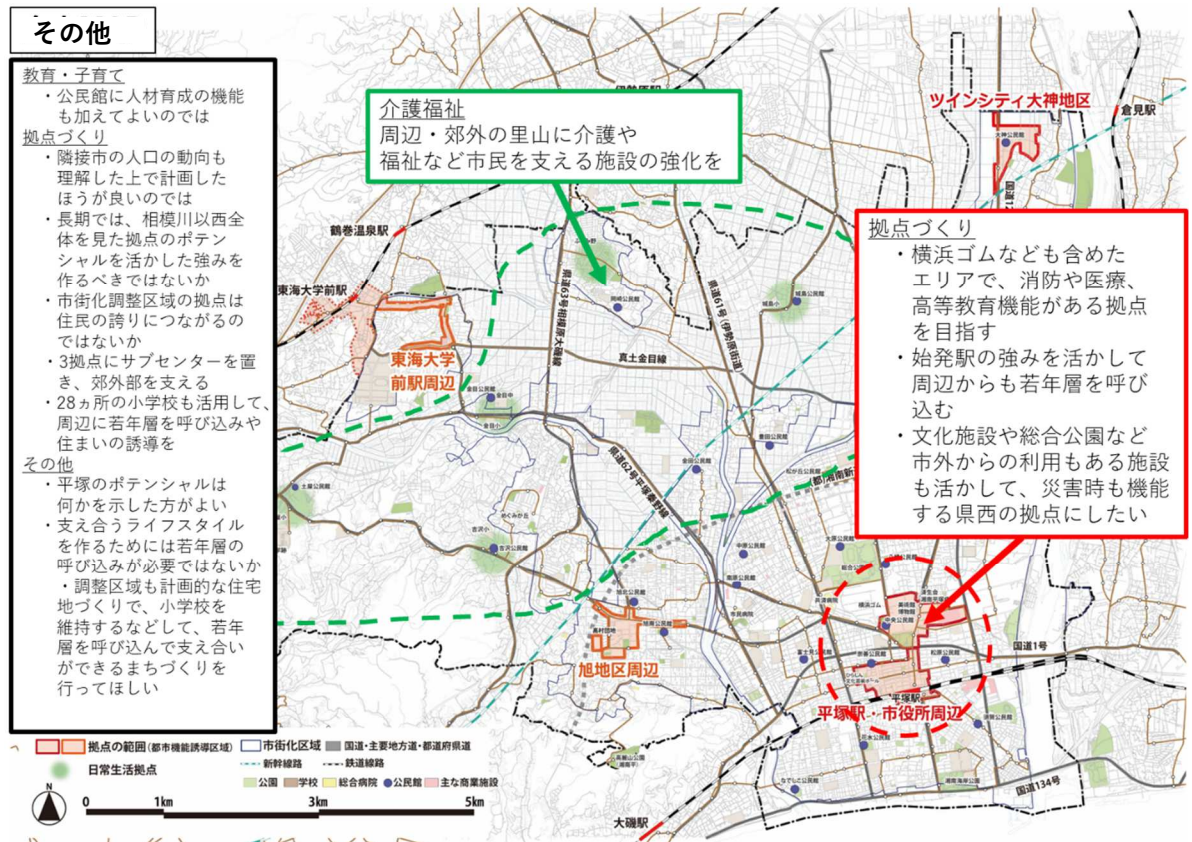
- ・平塚のポテンシャルは何かを示した方がよい
- ・支え合うライフスタイルを作るためには若年層の呼び込みが必要ではないか
- ・調整区域も計画的な住宅地づくりで、小学校を維持するなどして、若年層を呼び込んで支え合いができるまちづくりを行ってほしい

### 介護福祉

- ・周辺・郊外の里山に介護や福祉など市民を支える施設の強化を

### 拠点づくり

- ・横浜ゴムなども含めたエリアで、消防や医療、高等教育機能がある拠点をを目指す
- ・始発駅の強みを活かして周辺からも若年層を呼び込む
- ・文化施設や総合公園など市外からの利用もある施設も活かして、災害時も機能する県西の拠点にしたい



## 第4章 まとめ

オープンハウス型意見交換会と説明会型意見交換会の結果について、基本属性の傾向と、立地適正化計画に関する誘導施策・誘導施設、日常生活拠点に関する意見についてまとめる。

### 1. オープンハウス型意見交換会について

#### 【基本属性】

- ・**居住地**は、ツインシティ大神地区のみ市外が最も多く、市役所周辺は市外と東部地域が最も多かった。その他の拠点では、開催拠点の該当する地域の回答者数が最も多かった。市役所周辺のみ市外を含め、市内全地域からの回答があった。[問1]
- ・**年齢**は、ツインシティ大神地区周辺のみ30代が最も多い。その他の拠点では、60代以上が最も多く過半数を超えており、やや高齢者に寄った結果になっている。[問2]
- ・**開催拠点までの交通手段**として、東海大学前駅周辺、ツインシティ大神地区周辺では自家用車が、平塚駅周辺、旭地区周辺では徒歩が、市役所周辺では自転車の利用が多い。[問5]

#### 【開催拠点の誘導施策・誘導施設について】

- ・**拠点内で重要な誘導施策**については、各地区でバスなどの公共交通利便性の向上を重視している（旭地区周辺は地域内移動の支援を重視している）。その他は、平塚駅周辺で歩行環境整備、休憩・交流できる屋外公共空間づくりが、市役所周辺でイベントやゆっくり過ごす場づくり、歩行環境整備が、旭地区周辺で生活利便施設と合わせた多世代交流の場づくりを重視していた。[問7]
- ・**その他重視する誘導施策**は、東海大学前駅周辺で商業施設の誘導、図書館の整備、子供と共に遊ぶくつろげる場づくり、東海大学生との地域交流が、平塚駅周辺では商店街の再生、駅を経由せずに目的地へ行ける交通網整備、外国人が交流する場づくり、大規模工場との協働によるまちづくり、イベント・活動の場の充実が、市役所周辺では公共施設群の改修、歩行者と自転車が安全に移動できる道路づくり、近隣市と連携したまちづくりが、ツインシティ大神地区周辺では、倉見駅方面へのアクセス向上、外国人観光客も対象としたバスセンター整備、公民館での子供の居場所づくり、雨の日の子供の遊び場の充実が、旭地区周辺では団地内の商店街活性化が挙げられた。[問8]
- ・**強化すべき誘導施設**については、東海大学前駅周辺で行政、教育・文化機能が、平塚駅周辺で教育・文化、子育て、商業機能が、市役所周辺で商業、子育て機能が、ツインシティ大神地区周辺では子育て、医療機能が、旭地区周辺では教育・文化機能を重視していた。[問9]
- ・**具体的に強化すべき機能**として、東海大学前駅周辺では駅周辺での行政窓口や東海大学周辺での公民館の設置、東海大学内施設の一般開放、土日開放の保育園の誘導、多世代が利用できる公園広場の整備が、平塚駅周辺ではスーパーマーケットなどの商業施設の充実、南部地域での行政窓口の増設、南部地域から総合病院・総合公園・市役所にアクセスするバスの運行\*が、市役所周辺では見附台公園以東での緑ある公園整備が、ツインシティ大神地区では屋内の子供の遊び場や児童福祉施設の整備、小児科以外の病院・診療所の誘導、小回りの利くバスの運行、ポケットパークの整備、日常利用できる規模の買い物施設の誘導、消防署・交番の誘導が、旭地区周辺では区内に充実していない診療科や障がいをもつ子供の医療施設誘導、温浴施設や映画館などの娯楽を含めた複合施設誘導が挙げられた。[問9,10]

※メールによる提出意見



- ・日頃感じる課題として、東海大学前駅周辺では、神奈川大学跡地活用方法、金目公民館付近での歩道の狭さが、平塚駅周辺では、駅東側の生活利便性の向上、空き地空き家の管理や活用が、旭地区周辺では、高村団地外の未整備の歩道の危なさ、拠点以外も含めたバリアフリー整備対応を感じていた。[問 12]

#### 【災害について】

- ・災害に対する重要な施策として、旭地区周辺では避難所・避難路の整備が多い。その他の拠点では、河川や下水道整備による浸水対策が多い。特に気がかりな場所は、東海大学前駅周辺ではみずほ小学校、金目川付近での洪水被害が、ツインシティ大神地区の大神幼稚園周辺での洪水・内水被害が、旭地区周辺では指定避難所である旭陵中学校への高齢者の移動の困難、高根台病院周辺でのがけ崩れが挙げられた。また南部地域の津波被害も挙げられた。[問 11]

#### 【日常生活拠点について】

- ・東海大学前駅周辺で、金目小学校付近での買い物施設の誘導の意見があった。金目・豊田本郷付近での交通結節点の形成、城島地区での医療福祉施設や公園の少なさを日ごろ感じている課題として挙げられていた。[問 12]

## 2. 説明会型意見交換会について

#### 【誘導施策について】

- ・平塚駅・市役所周辺では、総合公園の柔軟な活用、平塚駅・市役所間の回遊性の向上、マンション1階への商業施設の誘導、周辺市からの利用も考慮した拠点づくりが、ツインシティ大神地区では農業施策との連携、地域住民や企業と連携したまちづくり、近隣市町村を考慮した拠点形成が、旭地区周辺では、医療予防を考慮した健康まちづくり、東海大学学生と地域の交流促進が、東海大学前駅周辺では拠点内での高齢者の移動手手段支援が挙げられた。

#### 【誘導施設について】

- ・平塚駅・市役所周辺では、高等教育機関も併せた子育て、教育・文化機能の強化の意見があった。

#### 【日常生活拠点について】

- ・農地も含めた交流広場整備・活用によるマルシェやキッチンカーなどの一時的・移動型の商業機能の導入、横内団地の属性を考慮した拠点の位置の再検討、介護福祉施設の強化が挙げられた。

#### 【その他】

- ・東西移動時の自転車の走行環境の改善の意見があった。
- ・横浜ゴムや総合公園などの施設も含めた都市機能誘導区域の可能性の提示があった。

■拠点別の意見一覧

拠点名	市民意見
東海大学前駅周辺	<p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海大学生との地域交流</li> </ul> <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海大学周辺での公民館の設置、東海大学内施設の一般開放</li> <li>・教育・文化機能の強化、図書館</li> <li>・商業施設の誘導</li> <li>・駅周辺の行政窓口</li> <li>・土日開放の保育園、子供と共に遊びくつろげる場づくり</li> <li>・多世代が利用できる公園広場</li> </ul> <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点内の高齢者の移動手段、支援</li> </ul>
平塚駅・市役所周辺	<p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺市からの利用も考慮した拠点づくり</li> </ul> <p>【平塚駅周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の再生、スーパーマーケットなどの商業施設の充実、マンション1階への商業施設の誘導</li> <li>・教育・文化、子育て、商業機能の強化、南部地域の行政窓口の増設</li> <li>・イベント・活動の場の充実、外国人との交流の場づくり</li> <li>・休憩・交流できる屋外公共空間づくり、緑ある公園の整備</li> </ul> <p>【市役所周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設群の改修</li> <li>・商業、子育て機能の強化</li> <li>・イベントやゆっくり過ごす場づくり</li> </ul> <p>【周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合公園の柔軟な活用</li> <li>・高等教育機関も併せた子育て、教育・文化機能の強化</li> <li>・大規模工場との協働によるまちづくり</li> </ul> <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行環境整備、歩行者と自転車が安全に移動できる道路づくり</li> <li>・駅を経由しない交通網整備</li> <li>・平塚駅・市役所間の回遊性の向上</li> </ul>



拠点名	市民意見	
ツインシティ大神地区	<p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町村を考慮した拠点形成</li> <li>・農業施策との連携、地域住民や企業と連携したまちづくり</li> </ul> <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館での子供の居場所づくり、屋内の子供の遊び場や児童福祉施設など子育て機能の強化</li> <li>・小児科以外の病院・診療所など医療機能の強化</li> <li>・日常的な買い物施設、消防署・交番、ポケットパーク</li> </ul> <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉見駅方面へのアクセス向上、小回りの利くバスの運行、外国人観光客も対象としたバスセンター整備</li> </ul>	
旭地区周辺	<p>【将来像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防医療を考慮した健康まちづくり</li> <li>・東海大学学生と地域の交流促進</li> </ul> <p>【機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団地内の商店街活性化</li> <li>・教育・文化機能の強化</li> <li>・地区内に充実していない診療科や障がいをもつ子供の医療施設誘導</li> <li>・生活利便施設と合わせた多世代交流の場づくり</li> <li>・温浴施設や映画館などの娯楽を含めた複合施設誘導</li> </ul> <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内移動の支援</li> <li>・都市機能誘導区域外も含めたバリアフリー整備</li> </ul>	
横内団地周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横内のコミュニティの中心は公民館付近</li> <li>・介護福祉施設の強化</li> </ul>	
金目小学校・公民館周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物施設の誘導</li> <li>・歩道の狭さ</li> </ul>	
吉沢公民館周辺	農地も含めた交流広場整備・活用によるマ	—
城島公民館周辺	ルシェやキッチンカーなどの一時的・移動	医療福祉施設や公園の少なさ
土屋公民館周辺	型の商業機能の導入	—